

1 題材名 名画セレクト批評会

2 題材の目標

- 美術作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを主体的に感じ取り味わおうとする。 (美術への関心・意欲・態度)
- 絵の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わうことができる。 (鑑賞の能力)

3 題材について

本題材は、中学校学習指導要領美術のB鑑賞(1)アから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、作品に対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、多様な価値を幅広く味わう力を育てることをねらいとしている。「名画セレクト批評会」と題し、比較鑑賞の方法をディベートとセレクションを組み合わせたプレゼンテーション方式で行うことで多様な価値を幅広く味わう力を育てたいと考える。人は何かを「セレクト(選択)」するとき、選ぶべきものの価値について深く考える。その状況を鑑賞活動に取り入れ、「プレゼン」側と「セレクト」側の両方を生徒に体験させることで、自分の見方や感じ方を見つめたり、他者の意見を吟味したりしながら一層深い鑑賞体験ができようになりたい

本学級は、全体の人数で、男子生徒が3分の2の割合を占める。普段の様子から活発に発言できる態度が身に付いており、話し合いや会話を中心とした活動には意欲的な取組が期待できる。鑑賞活動においても、作品と素直に向き合う姿が多く見られる。以前に行った分析的に鑑賞する活動では、カードへの記述を中心としたために語彙力の差が表れてしまったものの、自分と作者の捉え方を区別し、客観的な見方を参考にして鑑賞する姿も多く見られた。

このような生徒の実態を踏まえ、本題材では、4枚の人物画を比較鑑賞する活動を設定し、日常会話のような雰囲気の中で、互いの言葉から多くの「気付き」が連鎖し合い、一層深い鑑賞ができる授業を展開したいと考える。鑑賞作品には、フェルメールの「青いターバンの少女」と月岡芳年の浮世絵の美人画「はずかしさう(風俗三十二相)」の肖像画2枚、ゴッホと萬鐵五郎の自画像2枚を選ぶ。月岡芳年の作品以外は、「美術資料」(秀学社)の「顔は語る(p126)」にも掲載されている作品である。第3学年になると、人物の表情から複雑な人間の心理を読み取ることができる生徒も少なくない。絵画鑑賞に苦手意識のある生徒にも、人物画の鑑賞は、比較的親しみやすいのではないかと考える。また、肖像画と自画像の2枚ずつを、日本と西洋の作品の対にすることで、双方の表現方法の相違点や共通点にも気付かせたい。さらに、肖像画の2枚の比較鑑賞は、表現方法が大きく異なる作品であるが、同世代の少女像であることに着目させ、それぞれに表現された女性的魅力の違いに気付かせたい。また、自画像の2枚については、固執的な異常性と反抗的な孤独性に気付かせることで、複雑な人間の心理を直感的に感じさせることができる造形の力を味わうことができるのではないかと考える。

4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
人物画の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取ろうとし、根拠をもって批評し合う活動を通して、他者の考えに関心をもち幅広く味わおうとしている。	人物画の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、批評し合う活動を通して、幅広く味わっている。

5 本時の学習

(1) 目標

人物画を批評し合う活動を通して、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り幅広く味わうことができる。

(2) 準備・資料

作品カード、ワークシート、意思表示カード、電子黒板

(3) 展開

学習内容及び活動	指導上の留意点と支援 ◎評価（A：具体例，C：手立て）
<p>1 本時の学習課題と授業の流れをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>4枚の絵画を批評し合い、根拠をもって美術作品をセレクトしよう。</p> </div> <p>セレクト批評会の流れ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1. 作品ごとに2グループ4班に分かれる。 Aグループ 作品① 作品② Bグループ 作品③ 作品④</p> <p>2. 班ごとにそれぞれ作品批評を発表する。</p> <p>3. 互いのグループの発表を聞き合い、相手グループの作品のどちらかをセレクトする。 A テーマ「どちらが美しいか」 B テーマ「どちらに狂気を感じるか」</p> </div> <p>2 セレクト批評会をしよう。</p> <p>(1) 4枚から好みの作品を1枚選び、ワークシートで鑑賞する。 ①フェルメール「青いターバンの少女」 ②月岡芳年 「はずかしさう」 ③ゴッホ 「自画像」 ④萬鐵五郎 「赤い目の自画像」</p> <p>(2) グループで発表内容を話し合う。 ・①～④の選んだカードごとに、4班をつくる。ワークシートを活用し、発表内容をまとめる。</p> <p>(3) セレクト批評会を行う。 ・Aグループ①②班は、テーマにそって班ごとに交互に批評内容を発表する。 ・Bグループは発表を聞く前に、一度セレクトする。次に発表を聞いた上で、再度セレクトする。発表前と発表後に行い、人数の変化を見る。 ・Bグループ作品③④についても、同様に行い、Aグループがセレクトする。</p> <p>(4) 批評会后、他の3枚の作品についても感じたことを簡単にまとめる。</p> <p>3 本時のまとめ ・ワークシートで本時の学習を振り返る。</p>	<p>・セレクト批評会の流れを伝える。</p> <p>・4枚の作品カードをそれぞれ人数分用意しておく。</p> <p>・個人鑑賞のワークシートには、作品名や作者名など作品に関する情報も記しておく。直感的印象や描かれた色や形など事物の確認から想像できること感じ取れることなど段階を踏みながら人物の心理に気付いたり考えたりすることができるよう構成する。</p> <p>◎自分が選んだ作品の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを主体的に感じ取り味わおうとしている。 <美術への関心・意欲・態度> （観察・ワークシート）</p> <p>A：自分の感じとったことを根拠に基づいて言葉に表そうとしている。</p> <p>C：直感的印象を聞き、その根拠となった部分を引き出して言葉にできるようにする。</p> <p>・作品によって班の人数が偏る場合が予想される。人数が多い場合は、さらに4、5人ずつに分けて話し合えるようにする。3人以下の場合など状況によっては、他クラスで同じ作品を選んだ生徒のワークシートを用意したり、積極的に声掛けをしたりして話合いに広がりをもたせたい。</p> <p>・批評会中は選ぶ側の生徒がどちらの作品をセレクトしているかが分かるように、意思表示カードを提示させておくことで、誰の批評で見方が変わったかが分かるようにする。</p> <p>◎絵の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。 <鑑賞の能力> （ワークシート・観察）</p> <p>A：他者との話合いや発表を参考にしながら、よさや美しさを多く感じ取り、自分の思いを深めている。</p> <p>C：発表の中で共感や違和感のあった内容を基にその根拠を考えられるようにする。</p> <p>・他者と意見を交換することの面白さや、見方が深まった場面などを振り返ることができるように支援する。</p>